



# りんご生産情報（9月号）

令和6年9月18日  
北地区営農係



## 1、肥大状況

9月1日現在、各品種ともほぼ平年並みに推移しています。

単位：cm

地点	つがる	ジョナゴールド	王林	ふじ
新和（平場）	8.9	8.7	8.0	8.6
鬼沢（中間）	8.5	8.2	7.7	8.1
三和（中間）	9.0	8.8	8.1	8.8
十腰内（山手）	8.7	8.2	7.6	8.4
農協平均	9.1	8.4	8.0	8.4
平年比	97%	101%	98%	101%

## 2、中生種の収穫

9月13日現在で「ひろさきふじ」の熟度は、平年に比べると糖度12.4%（平年比+0.1%）、硬度13.3ポンド（平年比-0.3ポンド）、酸度は平年並み、ヨード反応2.6（平年比+0.3）と熟度は進んでいます。

地色の青みが抜け、明るい色調になった頃から収穫作業を始めましょう。

また、本年産は着色を待ちすぎると軟質果の発生が懸念されますので、収穫遅れにならないよう注意しましょう。



「トキ」の熟度も平年に比べ進んでいます。熟期が揃わないため、カラーチャートを参考にすぐりもぎを徹底しましょう。

当組合では、ひろさきふじの糖度13%以上を「夢ひかり」、トキの糖度15%以上を「メジャートキ」として取扱いしています。この比率を高めるためには、適期収穫が重要となります。



## 3、中・晩生種の着色管理

### ○除袋作業

ジョナやふじなどの有袋栽培では、9月いっぱいを目安に除袋を行いましょう。

日焼け防止のため、果実の温度が上がる午前10時頃から午後3時頃を目安に行いましょう。

また、葉摘みは日焼け防止、糖度・貯蔵性を高めるためにも除袋後に行いましょう。

内袋が青色・・・外袋除袋後3～4日後に内袋を除袋

内袋が赤色・・・外袋除袋後4～7日後に内袋を除袋

### ○摘葉作業

早くからの強い葉摘みは、食味の低下につながりますので、9月いっぱいには果実に密着した葉を摘み取る程度にし、10月に入ってから本格的に取り掛かりましょう。

### ○落果防止剤の散布

中生種で落果が見られるものについては、落果防止剤を散布しましょう。

品名	倍数	使用時期	散布量	使用回数	備考
ヒオモン水溶剤	2000倍	収穫21～4日前	300～600	2回以内	混用不可・展着剤不要

トキ・ひろさきふじ・早生ふじ・ジョナゴールド・シナノゴールドについては、異常高温による落果が見られる場合、落ち始めたところに散布するようにしましょう。

栽培履歴をまだ提出していない方は、最寄りの支店までご提出ください。

